

■臨床心理室

1. 2018 年度目標及び方針

- 1) 臨床心理室としての研究活動の推進
- 2) 収益面での貢献
- 3) 院内・地域への貢献

2. 2017 年度評価

1) 業務の効率化・適正化

今年度は、業務の効率化を目標に、削減できる業務の洗い出しや、利用できるリソースの活用を行った。室内のレターボックスの整理、心理検査用紙の配置など具体的な工夫に加えて、office365 や LINE を活用した臨床心理室内での情報共有を実施した。

2) 公認心理師法への対応

平成 29 年 9 月 15 日に「公認心理師法」が施行され、心理士の国家資格化が現実になった。今後、診療報酬などにも様々な形で「公認心理師」が記載されることが予想され、臨床心理室全員の取得が必須である。今年度は病院の協力もあり、臨床心理室全員の資格取得に向けて、それぞれの持っている情報の共有を行いながら準備を行ってきた。次年度は情報共有に加えて、資格取得のために必要な研修会の実施など、具体的な対策も進めていきたい。

3) 腎移植に伴う心理士のサポート体制の構築

昨年度より当院においても腎移植が行われることになり、臨床心理士もチームとして関わることになった。心理検査や半構造化面接を行い、患者さまの心理状態を把握し、心理面でのサポートや意志決定支援をできるよう活動を行ってきた。今年度は、レシピエント・ドナー双方に対して、のべ 57 件の面談を行った。次年度は、意志決定の過程を含め、倫理的な課題をチーム内で共有していくことを課題としていきたい。

3. スタッフ構成

- ・ 富安哲也（室長）
- ・ 奈良和子（副室長）
- ・ 上田将史（副主任）
- ・ 宮川智子
- ・ 三松早記
- ・ 花田祥子（非常勤）
- ・ 河田幸子（非常勤）
- ・ 須永聖大（非常勤）

4. 業務概要、および今年度の報告

- 1) 外来業務

主に心療内科・精神科や小児科などから依頼のあった患者さまに対して心理療法、プレイセラピーなどの個別相談や心理検査を行っている。必要に応じて患者さまのご家族や学校関係者など、関係施設の職員との地域連携も行っている。

今年度の外来での個別相談件数は4043件であった。これまで最も多かった3638件（2015年度）よりも1.2倍で過去最高の件数であった。また外来業務の主な依頼元である心療内科・精神科からの紹介も153件と過去最高の件数であり、依然として地域における臨床心理士へのニーズが高いことが伺える。

2) 精神科病棟業務

精神科病棟入院中で医師より依頼のあった患者さまに対してカウンセリングや心理検査、家族を含む環境調整などの業務を行っている。また「集団絵遊び療法」や「生活サポートプログラム」といった精神科リハビリテーションの一端となりえるグループ活動も定期的に行っている。今年度ののべ参加人数は「集団絵遊び療法」が69人、「生活サポートプログラム」が52人であった。

3) リエゾン業務

心療内科・精神科や小児科の患者さまのみならず、身体疾患に伴う不安や落ち込みなどがある患者さまに対して「リエゾン活動」として臨床心理学的な介入を行っている。臨床心理士が個別に面接を行うだけでなく、精神科リエゾンチームのメンバーとしてチームでの回診や、定期的なカンファレンスにも参加している他、緩和ケアチーム、ARTセンターなど各科の治療チームにもメンバーとして参加している。

リエゾン業務に関する今年度の依頼件数は136件と、昨年度の114件から1.2倍の増加であったが、要因としてはがん生殖と腎移植の患者が増えたことが大きく、依頼をいただいた診療科は一昨年23科、昨年20科よりも少ない17科となった。のべ相談件数は昨年度の3945件から4367件と1.1%の増加であった。

がん・生殖を担当する奈良と宮川は、「がん・生殖医療専門心理士」の認定資格を有しており、昨年の5月に開院した亀田IVFクリニック幕張においても業務を行っている。それ以外にも、がん・生殖医療専門心理士の育成や、研修会の講師、研究事業など様々な活動を行っている。

血液腫瘍内科への関わりの中では、上田が病棟看護師やリハビリスタッフと共に病棟内で創作活動を用いたグループを行い、患者さまからも好評であった。

4) その他の院内業務

亀田医療技術専門学校、亀田医療大学の講師、及び学生相談室の相談員や、院内の様々な研修会において講師活動を行っている（「5. その他の活動」参照）。

5) 地域援助業務

保健センターや教育現場などの公的機関が主催するものを含め、地域で行われる様々な事業への参加、また地域で働く精神保健関連のスタッフに対してコンサルテーション活動や講演活動を行っている（「5. その他の活動」参照）。

(表 1) 2017 年度臨床心理室のべ面接件数

| | |
|---------------------------|------|
| 1. 外来 | |
| 小児科 | 177 |
| 心療内科・精神科 | 3685 |
| リエゾン | 181 |
| 各種心理検査 | 143 |
| 2. 入院 | |
| 心療内科・精神科 | 102 |
| リエゾン | 228 |
| 各種心理検査 | 22 |
| 3. その他 | |
| 亀田IVFクリニック幕張 | 18 |
| 学生相談（亀田医療技術専門学校および亀田医療大学） | 38 |
| 合計 | 4594 |

(表 2) 2017 年度 診療科別依頼件数

| | |
|----------|-----|
| 心療内科・精神科 | 153 |
| がん・生殖 | 68 |
| 血液内科 | 16 |
| 小児科 | 25 |
| 腎移植科 | 16 |
| 循環器内科 | 3 |
| その他 | 26 |
| 合計 | 307 |

5. その他の活動

1) 院内活動

| | | | |
|------|---------------------|------------|---|
| 富安哲也 | アドラー心理学で考えるより良い人間関係 | 院内研修会 | 2017年5月31日 |
| 富安哲也 | 3年目向けストレスマネジメント | 院内研修会 | 2017年6月21日 |
| 宮川智子 | 当院の妊孕性温存の状況 | 亀田がん・生殖検討会 | 2017年6月30日 |
| 富安哲也 | 子どもの絵から見えること 分かること | 鴨川学習会 | 2017年8月23日 |
| 富安哲也 | 新人のためのストレスマネジメント | 院内研修会 | 2017年9月12日 2017年9月19日 2017年10月10日 2017年10月17日 2017年11月7日 2017年11月28日 |
| 上田将史 | 怒りとの付き合い方 | リハビリ親の会 | 2017年10月20日 |

2) 地域活動

| | | |
|------|----------------------------|-----------------|
| 富安哲也 | 平成 29 年度 鴨川市特別支援教育専門家チーム | 2017年4月～2018年3月 |
| 富安哲也 | 平成 29 年度 鴨川保健センター母子支援事業相談員 | 2017年4月～2018年3月 |
| 富安哲也 | 平成 29 年度 鴨川市いじめ問題対策調査会委員 | 2017年4月～2018年3月 |
| 上田将史 | 平成 29 年度 鴨川保健センターデイケアクラブ講師 | 2017年4月～2018年3月 |
| 上田将史 | 平成 29 年度 心のふれあいフェスティバル実行委員 | 2017年4月～2018年3月 |

| | | |
|---------------|--|-----------------------|
| 上田将史 | 平成 29 年度 心のふれあいフェスティバル相談スタッフ | 2017 年 5 月 17 日 |
| 上田将史 | 平成 29 年度 心の健康フェア実行委員 | 2017 年 7 月～2018 年 1 月 |
| 上田将史・ 富安哲也 | 平成 29 年度 心の健康のつどいスタッフ | 2017 年 11 月 5 日 |
| 上田将史 | 平成 29 年度 心の健康フェア当日スタッフ | 2017 年 11 月 15 日 |
| 上田将史 | 縁 Joy・東北 2017（東日本大震災被災者支援・東北復興 応援イベント）健康相談コーナー相談員 | 2017 年 12 月 2 日 |

3) 講演・講師活動

| | | | |
|---------------|--|--|---|
| 富安哲也 | 心理学 | 亀田医療大学看護学部 | 2017 年 4 月～ 2018 年 3 月 |
| 上田将史・ 三松早記 | 心理学 | 亀田医療技術専門学校 | 2017 年 4 月～ 2018 年 3 月 |
| 上田将史 | 精神保健学 2 | 立教大学コミュニティ福 祉学部 | 2017 年 4 月～ 2018 年 3 月 |
| 富安哲也 | ゲートキーパーの役割と相談の基 本について考える | 鴨川市民生委員児童委員 協議会研修会 | 2017 年 6 月 13 日 |
| 上田将史 | 子どもの心の SOS に気づいたら～ 声かけ、傾聴、連携を学ぶ～ | 平成 29 年度千葉市ゲート キーパー養成研修 | 2017 年 7 月 21 日 |
| 上田将史 | 高齢者のこころの危機にどう対処 する？～いのちを支える対応を学 ぶ～ | 平成 29 年度千葉市ゲート キーパー養成研修 | 2017 年 7 月 27 日 |
| 富安哲也 | ストレスと上手に付き合うための セルフケア | 平成 29 年度 長生保健所 管内給食施設管理者・従 事者研修会 | 2017 年 8 月 25 日 |
| 上田将史 | こころのメンテナンス～ストレス を人生のスパイスにするために～ | 館山市ケアマネージャー 連絡協議会第 2 回定例会 | 2017 年 9 月 7 日 |
| 上田将史 | 心の声に気づいたら～こころの理 解といのちの支援～ | 平成 29 年度千葉市ゲート キーパー養成研修 | 2017 年 9 月 20 日 2017 年 10 月 18 日 2017 年 10 月 27 日 |
| 奈良和子 | がん生殖医療心理ケア総論・実践 介入演習 | がん生殖医療専門心理士 養成講座 | 2017 年 10 月 7 日 10 月 8 日 10 月 29 日 |
| 富安哲也 | 相談の基本と相談員の心のケア | 平成 29 年度 長生郡民生 委員児童委員協議会研修 会 | 2017 年 10 月 26 日 |
| 上田将史 | ストレスの上手な付き合い方 | 鎌ヶ谷市こころの健康講 座 | 2017 年 10 月 27 日 |
| 三松早記 | コミュニケーションについて | 聖隷三方原病院緩和ケア | 2017 年 11 月 5 日 |

| | | | |
|------|--|--------------------------------|-------------|
| | | 研修会 | |
| 三松早記 | 子どもの病気に対する理解と反応 | がん医療におけるチャイルドサポート研修会 | 2017年12月3日 |
| 富安哲也 | 産後のメンタルケアについて | 平成29年度 母子保健推進委員等研修会 | 2017年12月6日 |
| 奈良和子 | がん相談員が知っておきたい「がんと妊孕性 実践編」 | がん相談研究会 研修セミナー | 2017年12月9日 |
| 富安哲也 | 対応の難しい方への接し方 | 第2回 管内保健師業務連絡研究会 | 2017年12月20日 |
| 上田将史 | 自他の権利を守るアサーティブ・コミュニケーション | 社会福祉法人にいざ 職員研修 | 2018年1月18日 |
| 上田将史 | PSW のためのアンガーマネジメント～イライラと上手く付き合う専門職になる～ | 千葉県精神保健福祉士協会 平成29年度 第3回 権利擁護研修 | 2018年2月11日 |
| 宮川智子 | がんと生殖医療の現場から | 公益法人がんの子どもを守る会宮城支部研修会 | 2018年2月11日 |

4) 学会・研究会活動

| | | | |
|------|--|--------------------|-------------|
| 上田将史 | コンサルテーション教育のあり方について考える | 日本コミュニティ心理学会第20回大会 | 2017年7月2日 |
| 富安哲也 | アドラー心理学の可能性と課題 | 東京アドラー心理学研究会 | 2017年8月30日 |
| 上田将史 | 総合病院の心理職による多職種連携のポイントと課題 | 日本家族心理学会第34回大会 | 2017年9月2日 |
| 奈良和子 | がん患者の妊孕性温存における心理支援 | 第30回日本サイコロロジー学会 | 2017年10月15日 |
| 奈良和子 | 妊孕性温存診療における心理・社会的サポート体制の実態と多職種連携 | 第30回日本サイコロロジー学会 | 2017年10月15日 |
| 富安哲也 | リエゾンにおけるカンファレンス：苦勞と工夫を改めて考える | 第30回日本総合病院精神医学会 | 2017年11月18日 |
| 奈良和子 | 千葉県の保健所・がん相談支援センターにおける妊孕性温存治療サポート体制の実態調査 | 第30回日本総合病院精神医学会総会 | 2017年11月19日 |
| 奈良和子 | がん領域と生殖領域の診療連携における両領域の臨床心理士の役割に関する基礎的研究 | 日本心理臨床学会第36回大会 | 2017年11月19日 |
| 奈良和子 | がん・生殖における臨床心理士の役割 | 第8回日本がん・生殖医療学会学術集会 | 2018年2月11日 |
| 奈良和子 | がん・生殖医療 生殖温存の現場は今 | 第15回日本生殖心理 | 2018年2月25日 |

| | | | |
|------|--------------------|------------------|------------|
| | | 学会学術集会 | |
| 宮川智子 | がん・生殖医療専門心理士としての活動 | 第15回日本生殖心理学会学術集会 | 2018年2月25日 |
| 奈良和子 | がん・生殖における臨床心理士の役割 | 第68回GHP研究会 | 2018年3月3日 |

5) 論文・著作

| | | |
|--------------|----------------------------------|-------------------|
| 宮川智子 | がん・生殖医療ネットワーク未整備地域における妊孕性温存の取り組み | 日本がん・生殖医療学会誌 |
| 富安哲也 (共著) | 精神科リエゾンチームガイドブック | 医歯薬出版株式会社 2017 |
| 奈良和子 (共著) | 乳がん患者の妊娠出産と生殖医療に関する診療の手引き | 金原出版 2017 |
| 三松早記 (共著) | がんの親を持つ思春期の子どもへのアプローチのコツ | 緩和ケア 2017年7月号 青海社 |

6) 研究活動

| | | |
|---------------|--|------------------------------------|
| 奈良和子・ 宮川智子 | 若年がん患者のサバイバーシップ向上を志向した妊孕性温存に関する心理支援体制の構築 | 厚生労働科学研究費補助金がん対策推進総合研究事業(がん政策研究事業) |
| 奈良和子・ 宮川智子 | 「小児・AYA世代がん患者のサバイバーシップ向上を志向した妊孕性温存に関する心理支援体制の均てん化に向けた臨床研究」 | 厚生労働科学研究費補助金がん対策推進総合研究事業(がん政策研究事業) |

7) その他

| | | |
|------|---|-----------------|
| 上田将史 | 精神科リエゾンチーム講習会ファシリテーター | 2017年8月26日～27日 |
| 上田将史 | 千葉県臨床心理士会 理事・代議員 | 2017年4月～2018年3月 |
| 上田将史 | 千葉県精神保健福祉協議会 理事 | 2017年4月～2018年3月 |
| 上田将史 | 公益財団法人 国際医療技術財団主催 災害医療研修ベ ーシックコース ファシリテーター | 2017年9月9日 |

文責：富安哲也